

事業報告

(令和元年度)

【平成31年4月1日～令和2年3月31日迄】

1. 事業概要	1
2. 事業実績	
(1) 人材育成事業(資金援助)	2
(2) 人材育成事業(褒賞)	5
(3) 人材育成事業(自主事業)	5
(4) 普及啓発事業	6
(5) 調査研究事業	6
3. 会議実績	
(1) 理事会	7
(2) 評議員会	8
4. その他	
(1) 許認可および登記等に関する事項	8
(2) 寄附金に関する事項	8
(3) 内部管理体制に関する事項	8
(4) 附属明細書	8

公益財団法人 日産財団

令和元年度事業報告

1.事業概要

1. 事業概要

令和元年度はこれまでの事業方針を踏襲し、初等中等教育における科学的思考能力を育む「理科教育」に焦点を当て、資金援助と褒章を組み合わせた理科教育助成事業を主力事業とした。さらに、一昨年度から論議してきた新規の自主事業として、未来の社会を担う新しい人材育成を目指す「未来のリーダー教室」を加えて、事業全体を通じて、「未来社会を担う子ども達の能力の早期開発を支援し、グローバルリーダーを育成する」ことを目指して人材育成を推進した。

また、理科教育助成の長年の成果を分析し、能力開発の指針となる書籍として広く普及啓発を図るための共同研究と、未来のリーダー教室を支える基盤となる共同研究を実施した。

なお、今年度は内閣府に対し「公益目的事業変更認定申請」を行い、財団の事業構成を以下のような枠組みに整理した。

(1) 人材育成事業(資金援助)

①理科教育助成

(2) 人材育成事業(褒賞)

①理科教育賞

②日産財団リカジョ賞

(3) 人材育成事業(自主事業)

①経営人材育成セミナー(GRLPアルムナイ)

②未来のための教育人材育成講座(未来のリーダー教室教員編)

③未来のリーダー人材育成講座(未来のリーダー教室中高生編)

(4) 普及啓発事業

①理科教育助成の成果書籍発行

(5) 調査研究事業

①リーダーシップ研究

<令和元年度助成実績>

助成事業			助成金等(千円)
人材育成事業	資金援助	理科教育助成	24,500
	褒賞	理科教育賞	2,700
	褒賞	日産財団リカジョ賞	445
	自主事業	経営人材育成セミナー	452
	自主事業	未来のための教育人材育成講座	1,745
普及啓発事業		理科教育助成の成果書籍発行	429
調査研究事業		リーダーシップ研究	1,916
合計			32,187

2.事業実績

(1)人材育成事業(資金援助)

① 理科教育助成

子どもたちの科学的思考能力を向上させる教育実践や教師の理科指導力を向上させる授業研究を行う小中学校、研究会などへの助成を今年度も継続実施した。

助成総数:35件、助成総額:2,450万円、助成期間:2年間

<神奈川県:総数17件 総額1,190万円>

所属機関名	テーマ
■ 湘南三浦教育事務所: 2件 140万円	
三浦市立旭小学校	主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICT活用についての事例研究
葉山町立葉山小学校	小学校におけるプログラミング授業の開発
■ 県央教育事務所: 2件 140万円	
厚木市立南毛利小学校	見方・考え方を働かせて問題解決の力をはぐくむ理科授業～実験・観察の充実とプログラミング教育の展開～
座間市立東原小学校	「エネルギー(電気・電流)」領域で、系統性を意識した授業の推進
■ 中教育事務所: 3件 210万円	
平塚市立土屋小学校	自然の事物・現象から見出した問題を主体的に解決し、自然のすばらしさを発信できる子の育成
秦野市立本町中学校	技能、観察力を育てる理科教育
伊勢原市立伊勢原小学校	問題解決の力を育成し、主体的に学習に取り組もうとする態度を養う理科指導

■ 県西教育事務所： 2件 140万円		
	中井町立井ノ口小学校	自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための資質・能力の育成～なかい授業づくりスタンダードとICT機器の活用をとおして
	真鶴町立真鶴中学校	主体的に学ぶ生徒の育成 ～コンピュータや情報通信ネットワーク等の活用をとおして～
■ 横浜市教育委員会： 4件 280万円		
	横浜市立立野小学校	ともにかかわり合いながら、自分づくりをすすめる子の育成
	横浜市立三保小学校	理科教育におけるESDの評価の在り方
	横浜市立白幡小学校	21世紀グローバル社会をたくましく生き抜く力の育成 ～各教科等を貫く自主的学習力の育成～
	横浜市立あざみ野第一小学校	校内資源を生かした持続可能な理科、生活科等の単元開発と若手教諭の授業力向上
■ 川崎市教育委員会： 2件 140万円		
	川崎市立下沼部小学校	見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む理科・生活科の授業づくりー 子どもが主体的に動き出す授業を目指して～
	川崎市立南生田小学校	う～ん… ころかな？ ああ、そうか！ ～視点をもって考え(学びあい)表現する子をめざして～
■ 相模原市教育委員会： 1件 70万円		
	相模原市立淵野辺小学校	自ら問題を追究し、ともに学びを深める子どもの育成 ～見通しをもって問題を解決する授業づくり～
■ 横須賀市教育委員会： 1件 70万円		
	横須賀市立高坂小学校	科学的に課題解決できる授業の創造と授業力の向上

<福岡県:総数7件 総額490万円>

所属機関名	テーマ
■ 福岡県教育委員会： 3件 210万円	
那珂川市立片縄小学校	自然事象を説明する子どもを育てる理科学習指導 ～情報の可視化を位置づけた「対話ユニット」を通して～
鞍手町立鞍手中学校	自然や科学を自らのこととして捉えることのできる生徒の育成 ～科学実験大学講座と理科の自由研究を連携した組織的な実践を通して
久留米市立篠山小学校	理科の見方・考え方を働かせながら問題解決する資質・能力を身に付けた子どもの育成 ～自分の考えや根拠を説明する活動の工夫を通して～
■ 福岡市教育委員会： 3件 210万円	
福岡市立香椎東小学校	自ら学びを調整する生活科・理科・生活単元学習の指導
福岡市小学校理科研究会	自ら納得する児童を育む理科学習指導法の研究 ～学びを自覚できる場面を位置づけた学習過程の工夫を通して～
福岡市立有住小学校	見方・考え方を働かせ、身近な自然に主体的に関わる子どもの育成 ～「命のカリキュラム」を構成する生活科・理科の学習を通して～
■ 北九州市教育委員会： 1件 70万円	
北九州市立熊西小学校	理科学習×プログラミング学習～思考力を伸ばす学習指導法の創造～

<栃木県:総数3件 総額210万円>

所属機関名	テーマ
■ 栃木県教育委員会 : 3件 210万円	
栃木県小学校教育研究会 宇都宮支部理科支部部会	科学の心で自然を見つめ, 未来をつくる理科学習
栃木市立赤津小学校	本校ならではの地域環境を生かし, 郷土愛とプログラミング的思考を育む ～「理科の見方考え方」で培う主体的・対話的で, 深い学び～
さくら市立氏家中学校	生徒たちの科学的思考力を高め, 実生活に活用する力を育成する授業の工夫

<福島県:総数8件 総額560万円>

所属機関名	テーマ
■ 県北教育事務所 : 1件 70万円	
福島市立吾妻中学校	理科教育を通して郷土愛を育むESDプログラムの創造
■ 県中教育事務所 : 1件 70万円	
郡山市立郡山第五中学校	「主体的・対話的で深い学び」を生み出す理科の授業
■ 県南教育事務所 : 1件 70万円	
中島村立中島中学校	思考力判断力を育てる学習指導
■ 会津教育事務所 : 1件 70万円	
会津若松市立謹教小学校	学び合い, 高め合う授業の創造 ～学びの実感に向かう姿を求めて～
■ 南会津教育事務所 : 1件 70万円	
南会津町立館岩中学校	分かる・できる授業づくりを目指して～スマートデバイスを効果的に活用した理科学習の指導法のあり方について～
■ 相双教育事務所 : 1件 70万円	
新地町立新地小学校	自然に親しみ, 理科の見方・考え方を働かせ, 問題解決の力を育成する授業の在り方 ～効果的なICT活用の在り方を通して～
■ いわき教育事務所 : 2件 140万円	
いわき市立小名浜 第二中学校	主体的に科学を主体的に探究しようとする生徒を育てる 理科指導方法の工夫
いわき市立好間第一小学校	水族館との連携による, 科学的な資質や能力の育成 ～理科・生活科の学習を通して～

(2)人材育成事業(褒賞)

① 理科教育賞

《第7回理科教育賞受賞校》

平成28年度助成校の中で、2年間の教育実践を終え、特に優れた実績を残したら4校による成果発表会を令和元年7月24日に開催し、最終選考の結果、下記の各賞受賞校に決定した。

【理科教育賞大賞 副賞100万円】

神奈川県 横浜市立三ツ沢小学校

【理科教育賞 副賞各50万円】

福島県 いわき市立小名浜第一小学校

栃木県 下野市立古山小学校

福岡県 飯塚市立飯塚東小学校

【理科教育賞ポスターセッション賞 副賞 20 万円】

神奈川県 川崎市立中学校教育研究会理科部会

② 日産財団リカジョ賞

日本国内の小学校と中学校、博物館などの教育施設に於いて、1. 生活科や理科を中心とした授業、2. 学習発表会やサイエンスショーなどのイベント、3. 科学部などのクラブ活動等組を通じて、女子児童・生徒の理科への興味関心を顕著に高めたと認められる実績に対して、『日産財団リカジョ賞』として下記の団体・個人に褒賞を行った。

【日産財団リカジョ賞 グランプリ 副賞 20 万円】

和歌山信愛中学校・高等学校 教諭 酒井 慎也 氏

【日産財団リカジョ賞 準グランプリ 副賞 10 万円】

チーム チョコレイト・サイエンス

学校法人大谷学園 大谷中学校・高等学校 科学部

(3)人材育成事業(自主事業)

① 経営人材育成セミナー

Global Resilient Leadership Program : GRLP (逆風下の変革リーダーシップ養成講座)は昨年度を以て中止とし、本年度はこれまでの受講生の継続的な学びの場として、アルumnaiのみを実施した。

実施年月日 : 令和元年 6 月 21 日

会 場 : 早稲田大学 日本橋キャンパス

参 加 者 : 32 名

実施費用総額： 452 千円

② 未来のための教育人材育成講座(未来のリーダー教室教員編)

Society5.0(超スマート社会)をリードする人材づくりを目指し、初等中等教育段階において、リーダー資質を萌芽・育成することを狙いとして、今年度は、教員向けの1Dayワークショップを開催した。

未来人材育成のためのワークショップ「未来のリーダー教室(教員編)」

実施年月日：令和元年12月25日

会場：BUKATSUDO HALL

参加者：全国から応募した幼小中高校教員20名

実施費用総額：1,745千円

(4) 普及啓発事業

① 理科教育助成の成果書籍発行

理科教育助成の助成開始以来16年余の成果を、横浜国立大学教育学部名誉教授の森本信也先生に分析・執筆いただく教育書籍を編纂中、次年度令和2年7月の完成と、令和2年9月に実施される第8回理科教育賞贈呈式での配布(無償)と全国書店での販売を計画している。

研究費総額：400万円

実施費用総額：429千円

(5) 調査研究事業

① リーダーシップ研究

Society5.0(超スマート社会)をリードする人材づくりを目指し、初等中等教育段階において、リーダー資質を萌芽・育成することを狙いとして、未来のリーダーに必要となる能力の萌芽・育成のための方法論に関する調査研究を行った。

初等中等教育段階におけるリーダー資質の萌芽・育成に関する調査研究

研究期間：平成31年4月1日～令和3年3月末日

共同研究者：早稲田大学商学学術院GSL研究所

担当教授：池上重輔教授、村瀬准教授、他大学院講師等数名

研究費総額：500万円(研究実費)

実施費用総額：1,916千円

3. 選考過程

助成事業	選考委員会	推薦日	募集期間	推薦 (応募)数	採択数
リーダーシップ研究	R1/5/23	H31/2/26	—	1	1
理科教育賞（褒賞）	R1/7/24	—	—	4	4
理科教育助成（推薦）	R1/11/11	R1/9/末※	R1/6/1～ R1/9/13	35	35

※各推薦者（都道府県市町村教育委員会）によって異なる

4. 会議実績

(1) 理事会

① 第1回理事会（令和元年6月6日開催）

第1号議案： 令和元年度第1回評議員会招集決定の件

第2号議案： 平成30年度事業報告および会計報告書承認の件

第3号議案： 令和元年度契約書等承認の件（決済金額500万円以上）

報告事項：

(1) 令和元年度職務執行状況の報告の件

(2) 平成30年度資金運用状況について

② 第2回理事会（令和元年6月26日開催）

第1号議案： 代表理事選任の件

第2号議案： 理事長、および常務理事選任の件

第3号議案： 非業務執行理事等との賠償責任限定契約締結の件

③ 第3回理事会（令和元年9月20日開催）

第1号議案： 令和元年度第2回評議員会招集の件

④ 第4回理事会（令和元年10月1日開催）

第1号議案： 代表理事選任の件

第2号議案： 理事長、および副理事長選任の件

⑤ 第5回理事会（令和2年1月30日開催）

第1号議案： 資金運用規程改定の件

第2号議案： 日産グループファイナンスの預け金一部解約及び仕組債購入の件

第3号議案： 令和元年度実施研究調査事業（初等中等教育段階におけるリーダ

一資質の萌芽・育成に関する調査研究)の研究期間延長承認の件

⑥ 第6回理事会(令和2年3月26日開催)

第1号議案: 令和2年度事業計画書・正味財産増減予算書承認の件

評議員会

① 第1回評議員会(令和元年6月25日開催)

第1号議案: 平成30年度事業報告書および会計報告書承認の件

第2号議案: 理事選任の件

第3号議案: 監事選任の件

第4号議案: 評議員選任の件

第5号議案: 変更認定申請承認の件

報告事項: 平成31年度事業計画書・正味財産増減予算書について

② 第2回評議員会(令和2年3月27日開催)

第1号議案: 理事選任の件

4. その他

(1) 許認可および登記等に関する事項

① 許認可

なし

② 登記

令和元年6月25日 理事(2名就任、5名重任)
評議員(2名就任、4名重任)
監事(1名就任)

令和元年10月1日 理事1名就任

③ 提出・変更届出・変更認定申請

・事業報告等の提出(令和元年6月25日)

・事業計画の提出(令和2年3月27日)

(2) 受取寄附金に関する事項

・2件 230,000円

(3) 内部管理体制の整備状況

・全役職員対象に公益性、法令順守意識涵養のための勉強会を実施した。

(4) 附属明細書

令和元年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が

存在しないので作成しない。